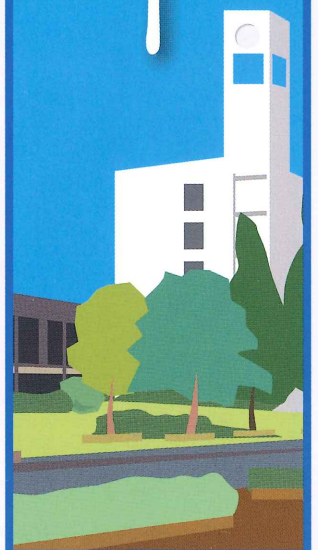




みゆきレター



志は大きく、挑戦しよう

卒業式を挙行するに当たり、ご来賓、並びに、多くの保証人のご臨席を戴き、有難うございます。卒業生の皆さん、大学院修了生、助産学専攻科修了生の皆さん、ご卒業、ご修了、おめでとうございませす。本学、教職員を代表しまして、心から、お祝いを申し上げます。

諸君は、本学の創立二十周年という記念すべき節目の時期に卒業することになります。今や本学は、建学の精神に基づいて今日の社会的要請に応える実務的人間を育成する教育体制が整い、熟成した時期と言えます。

皆さんの進路は、ほぼ、100%、希望する会社等に決まりましたし、在学中、多くの人が課外活動に熱心に参加し、体育系、文化系とも高い評価を受けました。

さて、諸君は、今日を境にいよいよ、学園を巣立ち、厳しい社会に一人で生きていくこととなります。そこで、是非、心得ていて欲しいことを、三つ挙げて、はなむけの言葉といたします。

まず、一つ目は、一日でも早く、学生気分を脱却し、会社中心のルールに従う生活態度に切り替える努力をして下さ

い。入社して、しばらくは、苦しいでしょうが、出来るだけ早く、会社の生活に慣れることが肝要です。短期間に定着できるよう、頑張らなければなりません。期待していなかった業務に就くことが求められる場合もあるでしょう。如何なる時も、不満を言わず、進んで引き受け、期待に添うよう、取り組むことが大切です。このようなミスマッチは、長い将来には、何回も経験するものです。経験を重ねるに従って、だんだん、熟達し、思うように出来るようになり、会社が好きになります。失敗したからといって、くよくよする必要はありません。自分が試されているのだと前向きに捉え直して下さい。

二つ目は、勉強は終わりではないという事です。これからが、勉強の始まりと覚悟した方が適切でしょう。勿論、大学で学んだことを活かせる機会はたくさんあります。ただ、自分は、専門の資格を持ち、最新の知識や技能を学んでいると、自己満足して、怠けていますと、すぐに同僚に追い抜かれ、落伍者になってしまうと思います。また、会社については、会社だけの狭い視点から理解するのでは

なく、社会を構成する一企業としてみる発想が必要で、常日頃、探求心を持ち、勉強をしておりますと、会社に有益な提案ができるようになります。

三つ目は、本音で話ができ、間違いをたしなめてくれ、悲しいときは泣いてくれる親友が欲しいものです。在学時代に親しかった友達も卒業後は、疎遠になつてしまいがちです。生涯の友になるよう、努力してください。「親友は、お金では買えない貴重な宝」です。

健康第一に、その上で思う存分仕事をやる気概で働きましょう。終わりに当たり、諸君が福山平成大学卒業生であることに誇りを持ち、多難な時代に自分の魅力を最大限発揮して、社会のリーダーとして活躍されますようご健闘を祈念して止みません。

平成二十七年三月二十二日

福山平成大学

学長 田口 則良



社会、地域の伸展に 貢献する人に

本日の記念すべき佳き日に、福山平成大学平成26年度卒業生のための式典が盛大に挙行されることになり、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん、よく頑張りましたね。おめでとうございます。また、本日のすばらしい卒業式に多くの保証人の皆様にご出席をいただき、卒業生とともに卒業を喜んでいただくことになり、ありがたく厚く御礼申し上げます。

保証人の皆様が大切にお育ていただいたお子様が成人式を迎え、立派な成人となり、社会人となって大学を卒業することになり、喜びも一入のことと改めて心よりお祝い申し上げます。

学校法人福山大学は、元文部省の大学学術局長でありました宮地茂先生が、大学の建学の精神として「人間の発達可能性を全体として調和的に実現していくことを目指す教育」即ち、ギリシャの哲学者プラトンやスイスの教育者ベスタロッチなどが称えるとともに、現在のわが国の教育基本法の基本精神となっている「全人教育」を教育理念とし、「国家、社会で活躍する有為な青年子女を育成すること」を目的にスタートし、今年で創立40周年を迎えることになったものであります。

大学の教職員は、創立者宮地茂先生の教育理念にしたがい、すべての学生に対する学習指導、生活指導さらには就職・進学指導について心血を注いで指導し、立派な社会人とするよう努力してまいりました。改めて教職員の皆様のこの努力に心から感謝と敬意を表すものであります。

さて、わが国の政治、経済の状況でありませんが、安倍内閣のアベノミクスとしての金融緩和、財政出動、成長戦略の基本政策が着実に進められ、経済の展望も明るくなりつつ

あるところであります。これを受け、今年の就職につきましては、就職を希望する者のほぼ100%が希望するところに就職することになりました。就職については学生本人の大変な努力に合わせ、大学の就職指導担当をはじめ、全教職員が真剣になって努力し、全国平均を遙かに上回る実績を挙げ、保証人の皆様のご期待に応えることができたものと考えております。

学校法人福山大学は「地域・社会で働く中核的な人材の育成を大きなミッションとし、地域、社会に貢献する有為な人材の育成を教育の重要な目標として掲げ、全学でたゆまぬ努力を重ねてまいりました。

ご承知のように経団連、日経連、商工会議所などの経済団体は企業等に貢献する人材として、①自分のしっかりとした意見を持っていること、②仕事がきちんとできること、③リーダーシップの取れる人材であること、④上司や同僚などとのコミュニケーションがしっかりと取れること、⑤課題を自ら見つけ、解決できる能力のある人材であること、⑥奉仕の精神で世のため人のために尽くすことのできる人——などを強く求めています。

また、企業の中には、その具体的な人材像として「自分で考え、しっかりと行動できる人」「三井物産、旭化成」「自分で考え、行動する個性豊かな人材」「(東京海上)「課題形成・解決能力と対人関係能力のある人」「日本航空「自分自身で常に高い意欲を持ち自ら仕事を創出し、その仕事に対して問題発見型の思考、特性で考え判断できる自律型人材であること」「(資生堂)「指示を待つことなく、自分から何かを創り出していきける人、また自ら向上させていく」とする意欲・姿勢を持った人」「(日本IBM)などの人材を強く求めています。このことは大、中、小企業に関係なくそれぞれの企業が強く求めて

いる人材であると考えています。

学校法人福山大学で育てた卒業生の皆さんは、これらの企業などの期待に必ずや応える優秀な人材であるものと確信しておりますので、これからは企業人として大いにその能力を発揮していただきたいと念願しております。

さて、学校法人福山大学は、今年40周年を迎える重要な年となっております。ご承知のように18才人口は、かつて平成4年に205万人でありましたが、平成26年には118万人とほぼ半分となり、今後は100万人前後を推移するといった大変厳しい状況になっております。

学校法人福山大学としては、このような状況を踏まえ、20年後、50年後のことを考え、長期ビジョン運営委員会を組織し、①学部、学科の再編、②教育改革の推進、③入試、就職対策の強化、④地域・社会との連携の強化、⑤国際交流の推進、⑥施設・設備の近代化などについて強力な対策を講じ、将来に備えることにしています。

なお、この改善、改革を進めるにあたっては、卒業生の皆さんに全面的なご協力をいただくためにも、同窓会活動にぜひご参加いただき、ご支援、ご協力をお願いいたします。卒業生の皆さん、大学で培った能力や資格などを活用し、社会、地域の伸展に貢献する有為な人材として活躍されますよう心より祈念し、卒業のお祝いの言葉といたします。

平成二十七年三月二十二日

学校法人福山大学

理事長 清水 厚實

門出を祝して卒業生に送る言葉

信念をもって一步一步前進

経営学部長 坪井 始



卒業おめでとうございます。卒業生のみなさんが入学してから四年間、大きく成長されたことと思います。

2014年12月3日に小惑星探査機「はやぶさ2」が打ち上げられました。2010年6月に帰還した「はやぶさ」

は、数々の困難を超えて3年遅れの7年という航行の末、小惑星「イトカワ」からのサンプルリターンという世界初のミッションを成し遂げました。不屈のチャレンジ精神が成し遂げた日本が世界に誇れる快挙でした。プロジェクトリーダーの川口淳一郎先生のお話を、2011年の教養講座で聞いた人もおられると思います。「はやぶさ2」も、様々な工学的実験を行いながら、2018年に小惑星1999 JU3に到着し、「はやぶさ」とは違ったタイプの小惑星のサンプルを採取して、2020年に地球に帰還する予定です。7年にわたるミッションは長いようですが、私たちの人生からみれば、そうではないかもしれません。また、私たちも人生の中で、様々な困難に立ち向かい、ときには忍耐の時期を過ごすこともあります。

今まさに、みなさんは社会人としての一步一步を踏み出そうとしています。それは、家族や大学から守られた学生という立場から、自ら道を切り開いて社会の一員として生きていくための第一歩です。また、これは人生の中で大きな節目のときでもあります。就職するということは、社会の一員となることです。いままで置かれていた環境が大きく変わり、それに対応する必要があります。これは、自分自身を見つめ直すよい機会です。学生時代に築いてきたことを生かし、自分を再認識して、自信をもって新しい一歩を踏み出していきたいと思います。

そして、みなさんの歩く道は、平坦な道だけではないと思います。険しい坂道があり、大きな壁が立ちはだかるかもしれません。大学で学んだことを基礎にして、常に新しい知識を吸収し、的確な判断力をもって、そのときの課題に対応できるよう精進していただきたいと思います。そして、目標に向かって一步一步、ときには半歩しか進めなくても自分自身のやり方で自信をもって前進してください。「はやぶさ」のプロジェクトチームのように、最後まであきらめず、自分の目標に向かって進んでください。

みなさんの新しい人生の門出に、幸多いことをお祈りいたします。

ご卒業おめでとうございます

福祉健康学部長 大成 浄志



福祉健康学部の卒業生諸君、御卒業おめでとうございます。保証人の皆様も安堵されたことと心から御慶びを申し上げます。

諸君は大学生活の4年間、社会人になるために勉学に励み、クラブ活動にまたボランティア活動に精進してこれ、多くのことをつかんだことでしょう。その答えが就職活動に活かされたことを確信します。これから旅立つ社会とは厳しいものであり、大学生のときのような甘えは決して許されないことを肝に銘じてください。

福祉健康学部の福祉学科を専攻した学生は高齢者福祉、障害者福祉をはじめ、社会の弱者といわれる人々の幸せを追求する学問を学び、こども学科を専攻した学生は、子どもの教育や福祉などを学び、また健康スポーツ学科を専攻した学生は教育学やスポーツ、健康学を学んで教員への道や、国民の健康維持増進に寄与する学問を修得しました。

また、大学院スポーツ健康科学研究科に学んだ大学院生は既に第5期生の修了を迎えることができ、平成26年度は2名に修士の学位が授与されました。大学院生活は指導教員との二人三脚で研究に携わった2年間でありますが、その成果は大きいものがあったと思います。本当におめでとう御座います。今後は精進してこられた教育・研究の成果を、高度専門職能人として社会に役立たれることを心から期待しています。

現在の我が国の状況は、経済面では政府はデフレ脱却と持続的経済成長に努力しており、景気の回復に大いに期待が持たれています。一方、イスラム国のテロリズムや近隣諸国との軋みは益々顕著となつてきており、まだまだ日本の状況は樂觀を許さないものであると言えます。卒業される皆様はこれからの長い人生においては、日本経済は必ず浮かび上がり、また沈むこともあるでしょう。今こそ人間の絆が大切になれる時代はないと確信しています。このような時代であるからこそ、これから実社会に旅立たれる諸君に望まれることは、強い自我をもって自分に与えられた仕事に邁進して頂きたいということです。どうか安易に仕事を辞めないでください。再び仕事を求めるのは至難の技であることを忘れないでください。最後に皆さんの幸運を祈っています。

キラリと輝く、未来のスペシャリストの門出を祝して

看護学部長 橋本 和子



晴れの門出を迎えた学生の皆さん、ご卒業本当におめでとございます。同時に、これまで学生を支え続けてく

ださいました保証人の皆さまに感謝の気持ちで一杯でございます。さぞ、今日の日を持ち望んでいたことでしょう。

さて、現在、団塊の世代が75歳になり超高齢社会を迎える2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築と推進が津々浦々の地域で実践することが求められています。病院と住み慣れた地域での生活を継続した看護サービスを提供するために、将来私たち看護専門職の役割の拡大と質量がますます求められる時代を迎えます。

本看護学部卒業生並びに大学院修士課程修了生、助産学専攻科修了生におきましては、幅広い知識の上に専門性を極め、将来の目標を明確にできたと思われれます。更に、今後、人々の健康生活上のために貢献できるよう、能力開発に繋げてくださることと確信しております。

学生生活におきましては、たくさんの友人や教員と繋がりましたね。エコーネットワークにより響きあい繋がることで、将来大きな財産になると思います。

これから楽しいことばかりではありません。苦しいこと、困難なことがたくさんあると思いますが、考え抜く力、取り組み、協力する力を発揮し、あきらめず、自分らしさを失わずに、人生目標を目指して頑張ってください。

キラリと輝く、未来のスペシャリスト達の前途のご多幸とご活躍を心からお祈りいたします。

I congratulate you
on your graduation.

大学生活を振り返って 四年間のメッセージ



経営学科
廣江 玲亜

私はこの福山平成大学の経営学部経営学科に入学し、今まで過ごしてきた4年間を振り返ると辛いことも多くあったけれど、それでも充実していたという気持ちを非常に強く感じています。そしてこの過ごしてきた大学生活は、私自身を大きく成長させてくれたと考えています。

まず、最初の1年目ですが、入学したての私は学科内に誰も知り合いはおらず、どんな人たちがいるのだろうか、ちゃんと友人はできるのかという不安な気持ちを抱えており、入学式のときから非常に緊張していました。ですが、合宿オリエンテーションのおかげで学科内の友人もでき、またダンス部へ入部したおかげで、他学科の友人もたくさん作ることができました。初めの1年間は、出会いの年だったと感じています。

次に、2年目ですが、新しくゼミにも入りより多くの知識を学んでいく中で、なかなか上手く勉強が進まず、悩んでいた時期がありました。私のゼミの最終目標は、1トパスポートの取得であり、また他にもさまざまな分野で活躍する資格を取得するために、佐藤先生の下で勉強をしていましたが、なかなか上手くいかずこの年では何も資格を得ることができず、悔しい気持ちを経験しました。

その次の年の12月には、就職活動が始まるということで焦りを覚え、より一層必死に勉強を進め、やっとの思いで秘書技能検定の資格や、ビジネス能力検定の資格を得ることができました。その後は、就職活動が始まり、自分が働きたいと思う企業を探すために多くの合同企業説明会などに参加したり、面接や履歴書を書くために自己PRを考えたり企業研究を行ったりと、しっかりと努力をしていけたと考えています。

そして、今現在ですが必死の努力が実った結果、無事に就職先も見つけることができました。また、あれほど勉強に苦戦していたトパスポートもちゃんと取得することができ、本当にほっとしています。この経験を通して、どんなに難しく辛い経験であったとしても努力していけばそれは決して無駄ではないということが学べたと感じています。また、ダンス部の仲間や友人たちのおかげで辛さを忘れて、御幸祭などの行事をたくさん楽しめたと思っています。この4年間で経験したことを、今後の社会人としての生活にしっかりと反映させまた日々成長できるよう努力していることと強く思います。本当にありがとうございました。



こども学科
原田 佳苗

私の大学での思い出は3つあります。まず1つ目は大学に入学し、一番最初にある行事の「オリエンテーションキャンパス」です。大学に入りどんな人がいるかわからないままの行事ですが、キャンパスに到着すると各班ことにかかれ、みんなの前で自己紹介をしたり、いろいろなゲームをしたり、一緒にスポーツをしたりと沢山の企画が用意されており、とても楽しい時間を過ごすことができました。夕食は班ごとにカレーを作りみんなで協力することができました。

2つ目は大学での授業です。大学に入り専門的なことについて学習することがとても新鮮でした。実習に行ったときや、自分が先生になったときのために、模擬授業や模擬保育も行いました。小学校の模擬授業だとうやたら生徒が分かちやすいか、意欲的に学習に取り組めるかなどについて考えながら授業を作りました。保育園や幼稚園用の模擬保育だと、子どもたちが楽しみなから活動できるか、環境構成は安全かなど注意しながら考えました。模擬授業や模擬保育では先生役と子ども役に学生が分かれます。みんなで意見を言い合い、授業を作っていく中でその人それぞれの個性などがあるので個性のある授業や、内容など記憶に残っています。

3つめは友達との時間です。授業中でも席指定ではない授業が多いので友達と一緒に授業を受けます。また、授業がない空き時間や昼食の時間など友達と過ごす時間もとても多いです。友達に悩みを相談したりいろいろな場所へ出掛けたりとても楽しく過ごせることができました。大学で友達と過ごせたことが一番の思い出です。



健康スポーツ科学科
湯本 里紗

4年間の大学生活が終わりを迎えようとしています。高校生の時に、養護教諭が体育教師を目指すかで悩んでいた私は、両方の免許を取得できる福山平成大学の健康スポーツ科学科に進学しました。

大学1、2年生の時は、軟式野球部のマネージャーとして部活動に没頭し、確実に単位も取得し、学業に部活動に励んでいました。目の前のことだけに集中して取り組んでいた私のターニングポイントは、大学3年生の時の養護の教育実習です。学校現場で児童生徒に触れ合い、他の先生方や保護者の方たちと関わっていく中で、理想と現実の違いに驚きを感じながらも、やりがいのある仕事だと感じ、養護教諭を目指すことにしました。

目の前にある課題だけでなく、先を見据えた行動準備をしていくことや、沢山の人たちと関わっていくためのコミュニケーション力は、養護教諭にとって必要なことです。今思えば、そのことを身に付けさせてくれたのは、部活動だと思っています。失敗を繰り返しながらも、周りを見て前もって考え、行動していくことで、救急処置等の対応もスムーズにできるようになりました。また、監督、学生、他の大学の方々と交流を深めていき、連携協力、大切さを学ぶことができました。軟式野球部は、厳しい練習を乗り越え、全国大会・西日本大会ともに第3位という成績を残すことができました。厳しい練習を支えていく中で辛いこともありましたが、このような結果を残すことができ、選手や他のマネージャー、監督、応援してくれたOB・保護者の方々、そして両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

長いようで短かった大学生活は、私にとってかけがえのないものとなりました。私が充実した大学生を送ることができたのは、大学生活で出会った全ての方たちのおかげです。私は卒業後、大学院に進学します。これからの新しい人生にも、これまでの出会いと経験を活かしていきたいです。



福祉学科
川中 友理夏

私は幼いころから人に喜んでもらえる分野(福祉)で仕事をしたいと考えてきました。福祉学科に入学し、あつというまの4年間が終わろうとしています。

福祉学科ではソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)になるための勉強に打ち込みました。福祉学科は少人数というところもあり先生方との距離も近く親密に関わることができました。先生方は現場を経験している方が多く、事例などを用いながらわかりやすく教えてくだしました。また、病院や施設での実習では福祉の現場で利用者の方に寄り添う大切さや弱い立場にある方にどのような支援ができるのかを学びました。

大学での勉強以外に力を注いだことはカフェでのアルバイトです。アルバイトでは社会人として基本となる笑顔と挨拶の大切さを学びました。接客の難しさに悩んだこともありましたが先輩方からアドバイスをいただきながら自分を高めていけるよう努力しました。

大学生活の4年間で出会った友人、先生方、そして家族など沢山の人々に支えられて辛い事も乗り越えることができたと思います。その中で感謝の気持ちや努力することの大切さを学びました。大学で出会った先生方や友人たちをこれからも大切にしていきたいです。

今後はソーシャルワーカーの国家資格を生かして様々なニーズを持った方々の立場に立ち、適切な支援のできるソーシャルワーカーとして働きたいと思っています。大学生活で受けた様々な「親切」「やさしさ」を今後の社会人生活を送る中で私も実践していければと考えています。



看護学科
箱崎 美咲

私は、小学生の時から看護師になることが夢でした。4年前、その夢を叶えるために本学に入学しました。入学式では新しい友達ができ、これから大学生活が始まるんだという期待と、初めての専門分野の勉強に対しての不安でいっぱいだったのを今でも鮮明に覚えています。

4年間で最も印象に残っているのは、何とんでも看護学実習です。基礎看護学実習では、初めて患者様を受け持ち、看護の基礎分野を学びました。毎日の記録が本当に大変で寝不足の日も少なくありませんでした。しかし、患者様によりよい看護を提供するため、また病院という限られた環境の中でどのようにすることで患者様らしい生活を送ることが出来るのかを考えながら看護計画を立案し、実施しました。3年次後期から約半年間行う各論実習では、先生や指導者の方からの厳しくも温かい指導があり、最後まで諦めずに頑張ることが出来たと思います。また、患者様からの「ありがとう」「や、素敵な看護師さんになってね」という言葉は今でも私に勇気を与えてくれるものであり、原動力となっています。そして、辛い時、苦しい時も同じ夢を追いかけて一緒に頑張張り、支え励ましあうことの出来る仲間に出会ったことも出来ました。

看護師国家試験は今まで学んできたことの集大成でもあり、大きなプレッシャーもありました。しかし毎日のように一緒に勉強してきた仲間の存在、最後まで応援してくださった先生や、家族の支えもあり、力を出し切ることが出来ました。

4年間を振り返ると、しんどいこともたくさんあったけれど、本当に楽しく充実した時間でした。この春からいよいよ看護師として働くこととなりますが、4年間の大学生活での学びを活かし、今後に繋げていきたいと思っています。

学科 トピックス TOPICS

「教員採用試験」

こども学科 大森 走



「笑顔」ってどんなときになりますか？大抵は楽しいと感じているときになりますよね。この「笑顔」が、採用試験合格の大きな原動力となりました。

年が明けて採用試験が近づき、そろそろ勉強を始めないか！と思い始めた3年生の1月。全く採用試験の実感はなかったですが、先輩から譲り受けた問題集をとりあえず解き始めました。しかし1ヶ月が経過したころ、ある2つのことに気がつきました。1つは、勉強している内容が全くといっていいほど記憶できていないこと、もう1つは、このペースでは確実に時間が足りない！ということです。後者の問題はなんとか解決することができたのですが、どうしても前者の問題を解決できません。勉強が楽しいと感じることができれば、きっと覚えられるのに……とありえず、無理やり笑顔で勉強してみよう！

そう思えた日から、少しずつ勉強の効果が表れるようになりました。どんな日でも笑顔を絶やさないようにすると、不思議なことに、みるみる内面からやる気がみなぎることが増えます！勉強した内容が頭に入っている感覚をだんだん味わえるようになり、物事をポジティブにしか考えられない日にも多々遭遇しました。(笑)最後の最後まで、勉強が楽しいと感じることはありませんでしたが、笑顔の影響で、勉強が楽しい！と脳が勘違いしたために、すさまじい量の問題を解き、それを記憶することができた、と僕は考えています。ちなみに試験当日ももちろん笑顔です。2次試験の面接がすごく楽しいと感じていた頃のことを思い出すと、あの頃の自分は相当変だったな、今でも思います。(笑)ですが、「笑顔の素晴らしさ」を実感した、人生で一番大きな出来事でもありました。簡単です！口角を少し上げるだけ！騙されたと思ってやってみてください。何かおもしろいことが見つかるかもしれません……。



平成26年度 卒業生数

学 部	学 科	卒業生数
経 営 学 部	経 営 学 科	47名
福 祉 健 康 学 部	福 祉 学 科	36名
	こ ど も 学 科	55名
	健 康 ス ポ ー ツ 学 科	84名
看 護 学 部	看 護 学 科	89名
計		311名

研 究 科	専 攻	修了者数
経 営 学 研 究 科	経 営 情 報 学 専 攻	2名
ス ポ ー ツ 健 康 科 学 研 究 科	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 専 攻	2名
看 護 学 研 究 科	看 護 学 専 攻	6名
計		10名

専 攻 科	修了者数
助 産 学 専 攻 科	7名

合 計	328名
-----	------

御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

平成26年度 学生表彰者一覧

このたび、「学生表彰」として学長賞が第18回学位記授与式において次の学生に、田口学長から表彰状と副賞が手渡されました。

学長賞は「学業部門」において、特に優秀な成績を修めた学生に授与されるもので、今年度は、5名が表彰されました。

学 長 賞

経営学科 松岡 美里

福祉学科 谷満 晴香

こども学科 神谷 沙希

健康スポーツ科学科 藤川 稚佳子

看護学科 安部 幸江

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学

発行日 2015年3月22日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>